

<<注意報>><<注意報>><<注意報>><<注意報>><<注意報>>

28 農試病防第 32060 号
平成 28 年 6 月 22 日

各関係機関長 殿

香川県農業試験場病害虫防除所長
(公 印 省 略)

平成 28 年度病害虫発生予察注意報第 4 号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

平成 28 年度病害虫発生予察注意報第 4 号

1. 病害虫名： **ブドウべと病**
2. 対象作物： **ブドウ**
3. 発生が予想される地域： **県下全域**
4. 発生程度： **多**
5. 注意報発表の根拠
 - (1) 6 月 17 日に露地栽培のデラウェア（多度津町）の巡回調査を実施したところ、べと病の発生圃場率は 66.7%（平年：18.3%）、発病葉率は 6.2%（平年：1.8%）であり、発生量が多い状況であった。（第 1 表）
 - (2) 6 月 22～28 日の気象は平年より降水量が多い予報であり、べと病の発生に助長的であるため、さらに蔓延するおそれがある。

第 1 表 露地ブドウ（デラウェア）におけるべと病の発生状況

年次	発生圃場率(%)					年次	発病葉率(%)				
	5月中旬	6月中旬	7月中旬	8月下旬	9月下旬		5月中旬	6月中旬	7月中旬	8月下旬	9月下旬
2006	0	0	0	0	16.7	2006					1.0
2007	0	0	0	16.7	0	2007				7.0	
2008	0	0	16.7	33.3	0	2008			1.0	3.5	
2009	0	0	0	33.3	66.7	2009				25.0	2.5
2010	0	83.3	100	100	83.3	2010		2.8	26.0	16.0	25.6
2011	0	33.3	100	83.3	33.3	2011		0.6	34.7	20.0	87.5
2012	16.7	0	50.0	83.3	0	2012	1.0		2.3	6.0	
2013	0	0	0	16.7	83.3	2013				10.0	37.0
2014	0	0	33.3	100	83.3	2014			4.0	2.8	8.6
2015	0	66.7	100	100	75.0	2015		2.1	28.5	40.5	45.3
2016	0	66.7				2016		6.2			
平年値	1.7	18.3	40.0	56.7	44.2	平年値	1.0	1.8	16.1	14.5	29.6

6. 防除対策
 - 1) 発生の多い圃場では直ちに第 2 表を参考に薬剤散布する。
 - 2) 収穫前の栽培圃場で薬剤防除を行う場合は、使用時期に注意して薬剤を選定する。
 - 3) 収穫後は無機銅を主体に用いて防除を徹底する。
 - 4) 発病葉及び発病果実が伝染源となるので、圃場外に持ち出して適正に処分する。
 - 5) 農薬の使用回数は収穫終了から翌年の収穫終了までの回数を数えるので、使用回数制限のある薬剤では回数に注意して使用すること。
 - 6) Q o I 殺菌剤（第 2 表参照）は耐性菌が県内で広範囲に確認されているので、これらの薬剤の連用は避ける。これらの剤を使用したにもかかわらず発生が多い圃場では、耐性菌

の発生が疑われるので他系統の薬剤を使用する。

7) 防除薬剤は香川県主要農作物病害虫・雑草防除指針、地域の防除暦等を参考にする。

第2表 ブドウべと病の防除薬剤

(香川県主要農作物病害虫・雑草防除指針より抜粋。平成28年6月8日現在)

系統名	成分名	薬剤名	希釈倍数	使用時期/使用回数
有機硫黄系殺菌剤	マンゼブ	ジマンダイセン水和剤	1,000倍	45/2
	マンゼブ	ペンコゼブ水和剤	1,000倍	45/2
有機リン系殺菌剤	ホセチル	アリエッティ水和剤	800倍	30/3
Qoi剤(ストロビルリン系殺菌剤)	アゾキシストロビン	アミスター10フロアブル	1,000倍	30/3
	クレソキシムメチル	ストロビードライフロアブル	2,000~3,000倍	14/3
その他の合成殺菌剤	シアゾファミド	ランマンフロアブル	1,000~2,000倍	14/3
	アミスルプロム	オラクル顆粒水和剤	5,000~10,000倍	14/3
	エタボキサム	エトフィンフロアブル	1,000倍	7/4
	キャブタン	オーソサイド水和剤80	800倍	45/2
	ジメトモルフ	フェスティバル水和剤	2,000倍	小粒種:45/2 大粒種:30/2
混合剤	ベンチアバリカリブイソプロピル + マンゼブ	カンパネラ水和剤	1,000倍	45/2
	ベンチアバリカリブイソプロピル + マンゼブ	ベネセット水和剤	1,000倍	45/2
	ベンチアバリカリブイソプロピル + フルオピコリド	ジャストフィットフロアブル	5,000倍	30/3
	ベンチアバリカリブイソプロピル + シモキサニル	ベトファイター顆粒水和剤	2,000~3,000倍	30/3
	シモキサニル + ファモキサドン	ホライズンドライフロアブル	2,500~5,000倍	21/3
	シモキサニル + マンゼブ	カーゼートPZ水和剤	1,000~1,500倍	45/2
	メタラキシールM + マンゼブ	リドミルゴールドMZ	1,000倍	45/2
	メタラキシールM + TP	フォリオゴールド	1,500倍	60/2
	キャブタン + ホセチル	アリエッティC水和剤	400~800倍	45/2
	ジメトモルフ + マンゼブ	フェスティバルM水和剤	750~1,000倍	45/2
	ジメトモルフ + アメクトラジン	ザンブロDMフロアブル	2,000~3,000倍	小粒種:45/2 大粒種:30/2

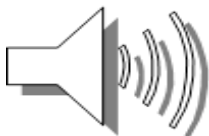


写真1 葉に発生したべと病の症状



写真2 果実に発生したべと病の症状

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう



6月~8月は、農薬危害防止運動月間です。
農薬の使用が増える時期ですので、今一度、農薬を適正に
使用できているか、チェックしましょう。

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <http://www.jpnpn.ne.jp/kagawa/>